

第82号 社協だより

発行日：令和7年7月25日

発行所：社会福祉法人喜界町社会福祉協議会
〒891-6201

喜界町赤連22番地（老人福祉センター内）

TEL 65-0887・0449

<http://kikai-shakyo.org/>

令和6年度事業実績報告

ロシアがウクライナへ侵攻して3年が経過した。また、パレスチナとイスラエルの紛争、移民問題、中国の力による海洋進出に伴う情勢の不安定化などの世界情勢が国民生活への多大な影響を及ぼしている。国内では昨年1月1日に発生した能登半島地震による被災地はいまだに復興途上であり、珠洲及び輪島市のボランティアセンターは活動を継続している状況である。九州社協連や鹿児島県社協の要請に応じて、珠洲市災害ボランティアセンターの運営支援に1名派遣することができた。関連して、3月25日に喜界ライオンズクラブと災害ボランティア活動に関する協定を締結した。

今年度事業計画に重点項目として上げた（1）BCP（事業継続計画）施行、（2）衛生委員会の設置、（3）虐待防止委員会の設置、（4）地域暮らし・ささえあい事業の実施については、いずれも達成できたが、（5）の介護人材の確保及び養成については未達成となった。退職者が5名（非常勤）に対し入職者が8名（常勤1名・非常勤7名）で充足した状況ではない。

法人運営においては、理事会を3回、評議員会を3回、監事会を1回開催した。職員会を週1回、広報委員会を4回開催し社協だよりを発行した。

地域福祉部門では、ふれあいいきいきサロン参加者は前年度の1,132名から1,057名と若干減少となった。地域見守り活動は9,813回実施しネットワーク研修会を1回開催することができた。

ボランティア関係では、児童生徒のふれあいボランティア認定証を18名に交付した。

権利擁護部門では、成年後見1件、任意後見1件を受任した。成年後見を必要とする方の相談窓口（中核機関）を設置し広報啓発を実施した。また判断能力の低下した方の支援のために通帳管理等を行う福祉サービス利用支援事業を54名に実施した。

障害福祉サービスは居宅介護と移動支援、相談支援事業を実施した。

生活困窮者自立支援事業（暮らし・しごとサポートセンター）では、病気や仕事、介護、障害等の相談を42件受け、7件のプランを作成した。

社会福祉法人が行うべき公益的な事業では、福祉用具無償貸出、法外援護資金の貸付、おもいやりネットワーク事業、フードドライブ、家電品中継事業を行った。

本会の主要な財源である介護保険事業では、訪問介護、訪問入浴、福祉用具貸与、小規模多機能型居宅介護、グループホーム、居宅介護支援の6事業を実施した。訪問介護事業は慢性的な人員不足により収入減の傾向にあるが前年度並みの収入が確保できた。訪問入浴は利用者が減少し事業の継続が危ぶまれている。小規模多機能ホーム十五夜は、定員を満たすことにより黒字に転換することができた。グループホームがじゅまるは従業者の高齢化や職員の確保に課題をかかえる中、収入が前年対比微減となった。法人全体の収入は事業活動計算書で前年対比3,000千円余の減で193,000千円余となり、当期繰越活動増減差額7,800千円余で前年対比13,000千円余の減となった。

※令和6年度末の文言です

運 営 ・ 管 理

理事会の開催：3回 評議員会の開催：3回 監事会の開催：1回

介 護 保 険 事 業

居宅介護支援事業 訪問介護事業 訪問入浴介護事業 福祉用具貸与事業
小規模多機能型居宅介護事業 認知症対応型共同生活介護・通所介護事業

地域見守りネットワーク支援事業

- ① 見守り活動等育成・・・見守りを基盤とした生活課題の把握。地区連絡会の開催（8集落9回）
- ② ネットワーク事業（生活支援）・・・民生委員・在宅福祉アドバイザーを核とした見守り声かけのネットワークの充実拡大。
一次支援〔安否確認〕のべ6,008回 二次支援〔話し相手・ゴミ出し・買物支援等〕のべ3,778回
三次支援〔専門業者への連絡〕のべ27回 協力員：145名 対象者：184名
- ③ 生活支援有償サービス事業の実施 利用者20名
清掃355回 墓参り支援88回 ごみ捨て56回 話し相手4回 内服支援15回
その他123回（水かけ・洗濯物干し・草取り・トイレ掃除・網戸掃除など） 合計641回

権 利 擁 護 関 係 事 業

- ① 成年後見事業・・・法人後見2名受任（法定後見1名・任意後見1名）
中核機関設置運営を行った。相談件数4件。ケース会議6回開催。
- ② 福祉サービス利用支援・・・日常的金銭管理や書類等の預かりサービスの実施。
（のべ利用者54名 のべ利用回数703回）

地 域 福 祉 関 係 事 業

- ① ボランティア登録・・・9団体470名 個人12名
- ② ボランティア保険加入・・・活動保険251名 ふれあいサロン1,819名 福祉サービス総合補償16名
- ③ 児童・生徒のふれあいボランティア活動・・・認定証交付 小学生14名 中学生4名
- ④ ふれあいいきいきサロン事業・・・実施集落16集落 実施回数164回 のべ利用者数1,057名
- ⑤ 生活福祉資金貸付事業・・・低所得世帯や身体障害者世帯に対し、資金の貸付と必要な援助を行うことにより世帯の更正が図られるよう援助した。（貸付0件 のべ相談10件）

障 害 福 祉 サ ー ビ ス

- ① 障害者相談支援事業・・・障害者等からの相談に応じ、必要な情報の提供及び助言その他の障害福祉サービスの利用支援等、必要な支援を行った。（のべ利用者数163名）
- ② 障害者居宅介護事業・・・居宅において身体介護及び家事援助を行った。（のべ利用者73名）
- ③ 移動支援事業・・・屋外での移動が困難な障害者に対し、地域における自立生活や社会参加を促進するため、外出支援を実施した。（のべ支援数118回）

そ の 他 事 業

- ① 生活困窮者自立支援事業・・・生活困窮者が抱える多様で複合的な問題の相談に応じ、必要な情報提供及び助言を行い、自立の促進を図った。
（相談件数42件 支援調整会議1回 プラン作成7件）
- ② 家電製品中継事業・・・家庭で不要になった電化製品を募り、必要としている世帯へ寄付するための中継を行った。
（寄付申込者2名 受付家電2点 受贈申込者3件 引き渡し家電1件）
- ③ 福祉センター管理業務・・・のべ利用者数1,900名
- ④ 広報活動・・・社協だよりの発行：3,350部 年4回
- ⑤ 福祉タクシー事業・・・移動困難者の利便性の向上、社会参加の促進を目的に実施。（のべ回数66回）

共同募金・歳末助け合い募金運動

- ① 一般募金目標額 1,200,000円 一般募金実績額 1,147,594円
- ② 歳末助け合い募金目標額 450,000円 歳末助け合い募金実績額 390,201円

日 本 赤 十 字 業 務 の 推 進

- ① 地域における赤十字社員増強運動の実施
〔社費募集内容〕赤十字社鹿児島支部目標額 957,500円 実績 1,194,000円

社会福祉法人の公益的取組

- ① 法外援護貸付資金・・・低所得世帯に対し、緊急不測の出費等に要する資金の貸付を行った。
(貸付件数 5 件)
- ② おもいやりネットワーク事業・・・福祉的課題や生活課題を抱える世帯を対象に現物給付での支援を行えるよう体制を整備した。(支援件数 3 件)
- ③ 福祉用具の無償貸与・・・介護認定申請時や退院時の短期利用者は無償で貸付を行った。
(のべ件数 7 1 件 主な福祉用具：ポータブルトイレ・車椅子など)
- ④ フードドライブ・・・家庭で不要になった食品の寄付を募り、支援を必要としている世帯へ配布できるよう体制を整備した。(支援件数 7 件)

令和6年度決算報告

法人単位資金収支計算書

自 令和6年4月 1日
至 令和7年3月31日

(単位：円)

勘 定 科 目			予 算 (A)	決 算 (B)	差異(A)－ (B)
事業活動による収支	収入	会費収入	850,000	772,300	77,700
		寄付金収入	1,300,000	1,680,419	-380,419
		経常経費補助金収入	4,174,000	4,074,585	99,415
		受託金収入	16,805,000	16,437,000	368,000
		貸付事業収入	300,000	176,000	124,000
		事業収入	11,100,000	10,938,400	161,600
		介護保険事業収入	152,843,000	153,806,439	-963,439
		障害福祉サービス等事業収入	4,733,000	5,064,360	-331,360
		その他の事業収入	570,000	619,009	-49,009
		受取利息収入	1,000	25,733	-24,733
		その他の収入（雑収入）	1,523,000	1,741,496	-218,496
		事業活動収入計（１）	194,199,000	195,335,741	-1,136,741
	支出	人件費支出	146,440,000	144,996,861	1,443,139
		事業費支出	18,728,000	18,034,421	693,579
		事務費支出	16,474,000	15,043,750	1,430,250
		共同募金配分金事業費	1,100,000	1,053,343	46,657
		貸付事業費支出	300,000	176,000	124,000
		助成金支出	120,000	120,000	0
		負担金支出	60,000	48,000	12,000
		その他の支出	30,000	0	30,000
事業活動支出計（２）	183,252,000	179,472,375	3,779,625		
事業活動収支差額（３）＝（１）－（２）		10,947,000	15,863,366	-4,916,366	
施設整備等による収支	収入	施設整備等補助金収入	3,000,000	3,000,000	0
		施設整備等収入（４）	3,000,000	3,000,000	0
	支出	固定資産取得支出	6,844,000	6,813,438	30,562
		施設整備等支出（５）	6,844,000	6,813,438	30,562
	施設整備等収支差額（６）＝（４）－（５）		-3,844,000	-3,813,438	-30,562
その他の活動による収支	収入	その他の活動による収入			0
		その他の活動収入計（７）	0	0	0
	支出	その他の活動による支出	4,170,000	4,154,640	15,360
		施設整備積立支出			0
		その他の活動支出計（８）	4,170,000	4,154,640	15,360
	その他の活動収支差額（９）＝（７）－（８）		-4,170,000	-4,154,640	-15,360
予備費支出（１０）		0	0	0	
当期資金収支差額合計（１１）＝（３）＋（６）＋（９）－（１０）		2,933,000	7,895,288	-4,962,288	

災害ボランティアに関する協定書締結

本会と喜界ライオンズクラブ（上園田慶太会長）は、災害ボランティアに関する協定書を締結し、その調印式を令和7年3月25日に実施しました。

本協定は、災害時にボランティアセンターを開設する業務を担う本会と、全国的な組織として知見・資材を共有する体制を有している喜界ライオンズクラブとの協力体制を整備するもので、これにより災害時には、本会

からボランティアセンター運営に必要な資材、機材を喜界ライオンズクラブへ要請し、喜界ライオンズクラブは物的・人的支援を提供することができます。台風や大雨など近年激甚化する自然災害に備えるべく、今回協定を締結した喜界ライオンズクラブをはじめ、関係機関とますますの連携を図ってまいります。



★保健福祉ネットワークアドバイザー研修会

令和7年6月4日（木）自然休養村管理センターで「保健福祉ネットワーク在宅福祉アドバイザー研修会」を開催しました。集落区長、民生委員など78名の参加がありました。本研修では、民生委員3名による見守り活動の事例発表や、能登半島での災害ボランティア活動報告、包括支援センター吉田氏からチームオレンジの取り組みについてお話を頂きました。

チームオレンジは、認知症の方やその家族が住み慣れた地域で安心して生活ができるよう、身近な地域で支援する取り組みのことです。町内でのチームオレンジの活動として、町内で初めて発足された大朝戸・西目集落の「大西なごみ会」の紹介がありました。参加者からは、他集落の活動について知ることができ多くの学びがあったとの感想がありました。

ネットワーク活動は多くのアドバイザーや協力員の皆様にご協力頂いて活動しています。担い手の不足など課題もありますが、今後も住民主体の支え合い活動の充実と安心して暮らせる地域づくりを目指していききたいと思います。



児童・生徒のふれあいボランティア活動

令和7年6月10日に早町小学校でボランティア活動認定証交付式が行われ、2名に認定証が交付されました。30ポイント達成の川村英輝さんは「小さな親切運動」へ推薦を行い、今回の認定証と併せて小さな親切実行章も交付されました。



6年生 川村 英輝さん (30)

3年生 林 朱里さん (10)

() 内は達成ポイント数



いつもありがとう
ございます



福祉教育出前授業



令和7年6月19日(木)喜界小学校3年生の児童を対象に福祉教育の一環として、高齢者疑似体験学習の出前授業を実施しました。本会の福祉用具専門相談員と介護福祉士が説明や補助を行いながら、高齢者・障がい者の疑似体験として、疑似体験セットの着用の他、車椅子の操作や視力障害を想定した体験をしてもらいました。児童からは「目が見えないと不安だと思った」「困っている人には声をかけたい」等の意見がありました。今回の体験を通じて福祉の心を育んでももらえればと思います。



Instagram 始めました

本会の活動等を紹介していきますのでぜひご覧ください。



KIKAIYOUSYAKYOU

不要家電ご寄付のお願い！



ご家庭で不要になった家電がございませんか？本会では不要家電をお預かりし、必要としている家庭へ届けています。引っ越しや買い替え等でいらなくなった生活家電がありましたら、ご寄付をお願いいたします。ご寄付にあたっては下記の通り注意点がございます。

ご寄付いただきたい家電について

冷蔵庫
洗濯機
テレビ
電子レンジ
エアコン

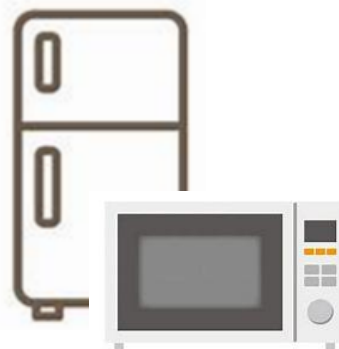
- ・ 製造から10年以内のもの
- ・ まだ使える状態であること

※現状確認と動作確認をさせていただきます。

家電を受け取る方について

ご寄付いただいた家電を受け取れる家庭は、くらサポで相談を受けている家庭になります。

どなたにでもお渡しするわけでは
ないことをご理解ください。



日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償！！

令和7年度

ボランティア活動保険

商品パンフレットは
こちらから
(ふくしの保険ホームページ)



保険金額・年間保険料（1名あたり）

団体割引20%適用済／過去の損害率による割増適用

保険金の種類		プラン	基本プラン	天災・地震補償プラン
ケガの補償	死亡保険金		1,040万円	
	後遺障害保険金		1,040万円(限度額)	
	入院保険金日額		6,500円	
	手術 保険金	入院中の手術	65,000円	
		外来の手術	32,500円	
	通院保険金日額		4,000円	
賠償責任	地震・噴火・津波による死傷		×	○
	賠償責任保険金 (対人・対物共通)		5億円(限度額)	
年間保険料			350円	500円

<重 要>

- ◆基本プランでは地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。
- ◆年度途中でご加入される場合も左記の保険料となります。
- ◆中途脱退による保険料の返金はありません。
- ◆途中でボランティアの入替や、ご加入プランの変更はできません。
- ◆ご加入は、お1人につきいずれかのプラン1口のみとなります。



ボランティア行事用保険

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償

(傷害保険)

福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL: 03 (3349) 5137
受付時間: 平日の9:00～17:00 (土日・祝日、年末年始を除きます。)
この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03 (3581) 4667
受付時間: 平日の9:30～17:30 (土日・祝日、年末年始を除きます。)

〈SJ24-10057より抜粋〉



この広報誌は、赤い羽根共同募金の配分金が活用されています。